

第15回戦争社会学研究会大会

日時：2024年4月20日（土）12:30-17:30（開場12:00）

4月21日（日）10:00-16:00（開場 9:30）

会場：神戸市外国語大学 三木記念会館（神戸市営地下鉄「学園都市」駅下車徒歩すぐ）

アクセス：<https://www.kobe-cufs.ac.jp/access.html>

開催方式：対面（2日目のシンポジウムのみオンライン配信あり）

参加費：対面 会員 2,000円，非会員 3,000円

オンライン 会員1,000円，非会員1,500円（シンポジウムのみ）

参加申込：PassMarket(パスマーケット) * 4月14日(日) 23:59までにお申し込みください

大会参加の詳細については、かならず大会プログラムをご確認ください

戦争社会学研究会HP：<https://scholars-net.com/ssw/>

問い合わせ先：ssw.plac@gmail.com（大会事務局）



参加申込

● 4月20日（土）

個人報告 12:40-15:30 司会：木村豊（大正大学）

- ・星鐵雲（立命館大学大学院）「戦争体験のなかの「空襲」——まなざしとメディア」
- ・小酒奈穂子（立命館大学大学院）「戦後日本社会と「子どもの戦争の記憶」」
- ・松原弘明（東京工業高等専門学校）「祖母の東京大空襲——オーラルヒストリー収集の試み」
- ・森川麗華（東京大学大学院）「「中国残留婦人」のモデル・ストーリー再考」

ミニテーマセッション「家族のなかの戦争記憶につながる」16:00-17:30 司会：清水亮（慶應義塾大学）

- ・中村平（広島大学）「復員日本兵の祖父の戦争経験と私への戦争トラウマの連累」
- ・愛葉由衣（日本学術振興会・広島大学）「祖父の戦争記憶を紡ぎ、たどる——歩くという実践のなかで」

● 4月21日（日）

個人報告 10:00-12:00 司会：森下達（創価大学）

- ・加藤真生（名古屋大学）「軍陣医学をめぐる帝国間関係と近代日本——統計・給水・熱帯衛生」
- ・川原吉貴（彦根城博物館学芸史料課）「映画「皇帝のいない八月」——原作との違いはなぜ生じたか」
- ・多谷洋平（立命館大学大学院）「江藤淳の文学検閲論と1980年代の言論空間における反応」

シンポジウム「戦争と観光」13:00-16:00 司会：木下直子（筑紫女学園大学），長島怜央（東京成徳大学）

- ・遠藤理一（和歌山大学）「米軍向け観光事業が生み出した移動と接触——占領期日本の事例」
- ・小川実紗（せとうち観光専門職短期大学）

「戦後沖縄にみる戦争と観光の結びつき——「性を消費する観光」の発達と変様から」

- ・フィリップ・シートン（東京外国語大学）「Hiroshima・ヒロシマ・広島における観光・ツーリズム」

コメント：岡本健（近畿大学 観光学の立場から） 中山郁（皇學館大学 宗教学の立場から）

※シンポジウムのみオンライン配信あり